

★戦時中の学校はどんな様子だったの？ 戦場に行った先生たち

戦時中（せんじちゅう）とは太平洋戦争に突入した日から終戦（しゅうせん）をむかえた日まで、つまり、真珠湾攻撃（しんじゅわんこうげき）が行われた昭和16年（1941）12月8日から「戦時」が始まり、終戦を迎えた昭和20年（1945）の8月15日をもって終わりました。この間が「戦時中」です。ハワイの真珠湾という所で、日本軍がアメリカ軍を攻撃（こうげき）したことに始まります。戦争になって、日本の若者は、兵隊（へいたい）としてどんどん戦場に送られました。小学校の先生も例外なく、次々と学校を去らなくてはなりませんでした。下の写真は石塚義次先生の壮行会（そうこうかい）と思われます。「祝 石塚義次先生」ののぼりや日の丸の旗をかざって、先生をはげましながら、見送ります。見送る人達、戦争に行く人達は、どんな気持ちだったのでしょうか。



前列男子 左から2番目は金井校長先生です。その隣が石塚先生でしょうか…